



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 能美防災株式会社

上場取引所 東

コード番号 6744 URL <https://www.nohmi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 龍典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 坂口 直人

TEL 03-3265-0214

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	50,038	15.5	5,555	196.0	5,653	176.1	3,637	220.7
2019年3月期第2四半期	43,312	3.6	1,877	39.5	2,047	34.9	1,133	48.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,614百万円 (192.8%) 2019年3月期第2四半期 1,234百万円 (46.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	60.32	
2019年3月期第2四半期	18.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	125,702	91,978	72.0
2019年3月期	128,628	89,362	68.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 90,532百万円 2019年3月期 87,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		16.00		16.00	32.00
2020年3月期		16.00			
2020年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	6.8	12,000	5.6	12,200	4.8	8,000	2.5	132.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	60,832,771 株	2019年3月期	60,832,771 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	533,659 株	2019年3月期	533,392 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	60,299,255 株	2019年3月期2Q	60,299,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦を巡る不確実性が高まるなか、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。

当防災業界におきましては、労務費や原材料価格の動向が引き続き懸念されるものの、底堅い企業収益を背景に民間設備投資が増加傾向にあることなどから、事業環境は堅調に推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは2019年度から3年間にわたる中期経営計画「project2021～強靱な「現場力」の構築～」を策定しており、その初年度として積極的な営業活動に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は61,688百万円（前年同四半期比6.5%増）、売上高は50,038百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

利益につきましては、売上高の増加に加え、比較的採算性の良い物件が集中したことから、営業利益は5,555百万円（前年同四半期比196.0%増）、経常利益は5,653百万円（前年同四半期比176.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,637百万円（前年同四半期比220.7%増）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は16,636百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益は2,945百万円（前年同四半期比90.9%増）、消火設備につきましては、売上高は18,508百万円（前年同四半期比23.2%増）、営業利益は2,993百万円（前年同四半期比85.5%増）、保守点検等につきましては、売上高は12,361百万円（前年同四半期比16.7%増）、営業利益は2,613百万円（前年同四半期比46.7%増）、その他につきましては、売上高は2,532百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は128百万円（前年同四半期比129.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、現金及び預金3,056百万円の増加、未成工事支出金909百万円の増加、原材料及び貯蔵品619百万円の増加等があったものの、受取手形及び売掛金7,879百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,925百万円減少し、125,702百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金1,723百万円の減少、支払手形及び買掛金1,316百万円の減少、電子記録債務645百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,541百万円減少し、33,723百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加を主因として、前連結会計年度末に比べ2,615百万円増加し、91,978百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年5月13日に公表した予想数値に現時点での変更はありません。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,689	40,745
受取手形及び売掛金	39,953	32,074
商品及び製品	2,990	3,028
仕掛品	1,094	1,272
原材料及び貯蔵品	4,150	4,770
未成工事支出金	7,020	7,929
その他	828	854
貸倒引当金	△397	△367
流動資産合計	93,329	90,308
固定資産		
有形固定資産	19,459	19,616
無形固定資産	1,446	1,384
投資その他の資産		
投資有価証券	6,033	6,055
その他	8,413	8,391
貸倒引当金	△53	△52
投資その他の資産合計	14,393	14,393
固定資産合計	35,299	35,394
資産合計	128,628	125,702
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,247	3,930
電子記録債務	5,032	4,387
短期借入金	19	18
未払法人税等	1,904	2,136
賞与引当金	3,154	1,431
製品保証引当金	5	15
完成工事補償引当金	42	42
工事損失引当金	919	1,056
その他	13,236	11,318
流動負債合計	29,562	24,337
固定負債		
社債	122	92
長期借入金	37	28
役員退職慰労引当金	165	157
製品保証引当金	164	159
工事履行保証損失引当金	231	231
退職給付に係る負債	8,081	7,839
資産除去債務	107	104
その他	792	772
固定負債合計	9,703	9,386
負債合計	39,265	33,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,871	12,868
利益剰余金	61,696	64,366
自己株式	△279	△280
株主資本合計	87,590	90,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	849	852
為替換算調整勘定	354	282
退職給付に係る調整累計額	△918	△859
その他の包括利益累計額合計	284	275
非支配株主持分	1,487	1,446
純資産合計	89,362	91,978
負債純資産合計	128,628	125,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	43,312	50,038
売上原価	30,624	33,666
売上総利益	12,688	16,372
販売費及び一般管理費	10,811	10,816
営業利益	1,877	5,555
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	37	39
補助金収入	-	45
保険返戻金	98	2
持分法による投資利益	8	11
為替差益	23	-
その他	64	65
営業外収益合計	241	173
営業外費用		
支払利息	2	3
賃貸費用	11	12
為替差損	-	8
損害賠償金	-	32
その他	57	18
営業外費用合計	71	75
経常利益	2,047	5,653
特別損失		
固定資産処分損	13	62
投資有価証券評価損	237	0
工事履行保証損失引当金繰入額	77	-
特別損失合計	327	62
税金等調整前四半期純利益	1,719	5,590
法人税等	611	1,930
四半期純利益	1,108	3,660
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,133	3,637

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,108	3,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	3
為替換算調整勘定	△143	△108
退職給付に係る調整額	89	59
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	126	△46
四半期包括利益	1,234	3,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,308	3,627
非支配株主に係る四半期包括利益	△74	△13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,719	5,590
減価償却費	925	1,010
のれん償却額	5	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	△30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107	△140
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△88	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,712	△1,722
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△12	5
工事履行保証損失引当金の増減額 (△は減少)	77	—
受取利息及び受取配当金	△46	△48
保険返戻金	△98	△2
支払利息	2	3
持分法による投資損益 (△は益)	△8	△11
固定資産処分損益 (△は益)	13	62
投資有価証券評価損益 (△は益)	237	0
売上債権の増減額 (△は増加)	14,076	7,839
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△944	△1,784
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,167	△2,950
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	319	853
その他	△1,126	△1,885
小計	10,288	6,787
利息及び配当金の受取額	73	54
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額	△2,367	△1,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,992	5,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	27	251
長期性預金の預入による支出	△83	—
長期性預金の払戻による収入	83	—
固定資産の取得による支出	△1,004	△1,127
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付金の回収による収入	5	1
保険積立金の解約による収入	149	11
その他	△25	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851	△943

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	—
長期借入金の返済による支出	△16	△9
社債の償還による支出	△30	△30
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	△21
配当金の支払額	△966	△966
その他	△5	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,049	△1,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,067	3,324
現金及び現金同等物の期首残高	31,892	36,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,959	39,685

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,199	15,027	10,596	40,823	2,489	43,312	—	43,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	9	0	40	99	139	△139	—
計	15,229	15,037	10,596	40,863	2,589	43,452	△139	43,312
セグメント利益	1,543	1,613	1,780	4,937	56	4,993	△3,116	1,877

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,116百万円は全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,636	18,508	12,361	47,506	2,532	50,038	—	50,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	6	0	59	100	160	△160	—
計	16,689	18,515	12,361	47,566	2,633	50,199	△160	50,038
セグメント利益	2,945	2,993	2,613	8,551	128	8,680	△3,124	5,555

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,124百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。